

第4回 TOFFセミナー：テーマ

「当事者と共に学ぶ」援助セミナー

「もし、あなたが今のままでは“子どもを得られない”としたら・・・
あなたは、どんな「選択と決断」をしますか。その時、誰に協力を求め、
どんな援助が必要ですか？」

上の問いに誰も答えを持たないまま、国内では約 50 万人の方々が現在も不妊治療を選択しています。更には約 100 万人が不妊の悩みを抱え、今も辛い日々を送っているのが現状です。

第4回 TOFF セミナーでは、「『当事者と共に学ぶ』援助セミナー」をテーマに、「当事者の語り」に耳を傾け、共に語ります。TOFF 研究会の目指す「生殖医療対人援助の構築」には、主体である当事者の声は欠かせません。その「語り」から、われわれは多くの学びを得ることができるでしょう。この「当事者と援助者の対話の場」に多くの方々の参加を歓迎いたします。

ご案内

- 日時**： 2007 年 12 月 1 日(土) 13:00～15:00 まで
- 場所**： 立命館大学 立命館アカデミア@大阪(淀屋橋)
〒541-0041 大阪府中央区北浜3-1-18島ビル 5・7F
淀屋橋駅 14 番出口上がる
- 参加費**： 無料（どなたでも参加可能。事前申し込みが必要です）
- 申し込み**： 氏名、性別、所属等を明記してお申し込みください。メッセージ等ございましたらご記入ください。
- 主催**： 生殖医療対人援助研究会（通称：TOFF 研究会）
Think Our Family & Future
- 共催**： 立命館大学人間科学研究所 臨床社会プロジェクト

参加申込・お問い合わせ等まずはメールでTOFF@hotmail.co.jpまで

生殖医療対人援助研究会（TOFF）

Think Our Family & Future

TOFF 研究会(Think Our Family & Future)とは？

目的： いま、生殖医療が提起する諸問題は、社会に大きな波紋を投げかけています。医療現場では、不妊治療を選択した当事者カップルとディレンマを抱える医療者たち（医師・看護師・培養士・スタッフ）が、その困惑の中で不妊治療に臨んでいるのが実際です。TOFF研究会では、現役の医療者たち、心理士、当事者（個人・カップル・その家族）等全ての関係者のインターフェイスの視点でつくる「臨床の場」で、それぞれに必要な援助を探求し、各自の専門性を活かした支援を統合し体系化することを目指します。不妊治療の現場で発生する諸問題・抱える課題の解決に向けて、連携と協働により「子どもの誕生を願い不妊治療を選択する当事者カップル」への必要な援助を模索し、新しい生殖医療のひとつのモデルを創造することが本研究会の目的です。

テーマ： 不妊カウンセリングを含む、対話による生殖医療の実践。当事者・医療者・心理士の協働する生殖医療システムの構築。

TOFF 活動内容

定例会： 当事者からの意見や提示された問題、医療者の直面するディレンマ、そして実際の医療現場で起こっている諸問題、更には生殖補助医療の抱える問題点と今後の課題の全てに対し、「提起された課題」として、当事者・医療者・心理士の協働で検討しその解決を目指す。

場所： 立命館大学 立命館アカデミア@大阪（淀屋橋）

〒541-0041 大阪市中央区北浜3-1-18 島ビル5・7F

06-6201-3610 （代表）

研修会： 生殖医療の対人援助を体系化し、「不妊カウンセリングの方法と実際」の学習会を開催します。会では、援助者の皆様と共にその実践力を培い、獲得するプログラムを企画予定。

交流会： 当事者の皆さんが集い、様々な情報交換ができる場を提供いたします。他にも、所属を超え「生殖医療対人援助の構築を求める医療者」のための意見交換の場を設けます。開催される全ての交流会では、講演形式にとどまらない「直接の相互対話」によって、互いに抱える課題解決の糸口を協働で目指しましょう。

公開シンポジウム

： 不妊治療に携わる医師、看護師、培養士、不妊カウンセラーをパネリストに、「当事者の視点を通した『不妊治療の抱える諸問題とその解決』（仮題）をテーマにシンポジウムを開催予定。

TOFF コンセプト

TOFFは生殖医療に関わる、全ての皆様に解放された研究会です。研究会は当事者・心理士・医師・看護師・培養士で構成されます。各自の所属を超え、個の尊重とプライバシーの遵守、また相互援助の協働と関係性の確立の上に、生殖医療が提起する社会問題を含む様々な課題に取り組みます。入会は、「不妊治療前・中・後の当事者またはカップル、もしくはその家族」。心理士・カウンセラー・相談員等の職務にあり、「不妊心理の援助」と「医療者との協働」を目指す心理職者。医師・看護師・培養士等の生殖医療関係者や、「対話による医療」に関心をお持ちの医療者および研究者の参加も歓迎します。

研究会では、中心に「医療の主体である当事者カップル」が位置し、その「選択と決定」を医師・看護師・培養士・心理士が協働し、各自の専門能力を統合した援助で支える医療モデル共同体を形成します。参加者の専門性が反映し統合された「生殖医療における対人援助」を探求し、現行の医療システム導入を目標とします。参加者は、それぞれの専門領域で「援助を必要とする」もしくは「必要な援助をする」ことを課題に、相互理解と連携に基づく新しい医療モデル構想の実現を共に目指します。

代 表： 荒木晃子（心理士）

共同研究者： 藤田圭以子（医師）・杉野寿子（看護師）・大村昌弘（心理士）

内田昭弘（医師）・永島百合子（看護師）・市原次郎（医師）

入会申し込み・お問い合わせ：TOFF@hotmail.co.jp 荒木まで